



【1年生の実践】

お手伝いがんばり週間

1年生も6月からお手伝いに挑戦しています。洗濯物たたみやカーテン開け、お風呂掃除などをがんばって、「ありがとう。」と言ってもらう喜びを感じたり、大変さに気付いたりしていました。

道徳科「ぼくのしごと」9月7日

「ぼく」がお風呂掃除をすることを通して、進んで働くことの良さを感じ取るという内容です。家でのお手伝いを思い出しながら、できるようになったことや働く喜びを共有しました。



金融教育出前授業9月4日

絵本の読み聞かせで、みんなのために働いて喜んでもらうことでお金をいただくことを知りました。クイズを通してお金の種類を知ったり、偽造防止のための高度な技術に興味を持って千円札を観察したりしました。



生活科「ありがとうがいっぱい」 12月～1月

お手伝いの経験を出し合いながら、積極的に仕事の分担を引き受け、できることは進んでする習慣を身に付けるようにしたいと思っています。

【4年生の実践】～金融機関による出前授業と学年集会による実践～

① 「金融機関による出前授業」の取組

商品とお金の流れなどについて生産者、消費者、事業者などの立場を役割分担した劇に参加したり、見たりしました。この劇を通して、子どもたちは家庭にお金がどのようにして回ってくるのか、事業者の方はどうやって利益を上げているのかを楽しく学んでいました。



② 「エコライフを広めよう」4年生学年集会の取組

1学期に4年生は、総合的な学習の時間の取組として、「私たちにできるエコライフ」の学習をしました。自分たちにできるエコライフについて「食品ロス」や「節電・節水」などについて発表しました。中でも、自分たちにできるエコライフとして持ち物を大切にすることや持ち物への記名の大切さについても全校児童に改めて発表しました。見ていた児童の感想には、「いつも給食を減らしているけど、地球温暖化を止めるために次から給食を残すのもやめようと思いました。」「家の人のお金で自分たちの服やノートを買ってくれているので、お金や持ち物を大切にしようと思いました。」などがありました。



